



◆木質バイオマスの熱利用セミナー開催趣旨

上川総合振興局管内では、地域において木質バイオマスを熱エネルギー利用する取組が進められ、公共施設や温泉宿泊施設等へバイオマスボイラーが導入されてきましたが、現在普及しているボイラー施設は、イニシャルコストが高いなど、今後のボイラー普及における課題が見られます。

こうした中、上川町地域資源利活用推進協議会では、イニシャルコスト低減に向けた新たな取組として、「コンテナユニット型チップボイラー」の導入を進めていることから、その施設完成見学会に併せまして、木質バイオマスの熱利用セミナーを開催し、更なる普及に繋がりたいと考えております。



◆講師：相川高信氏のプロフィール

1978年神奈川県生まれ。2004年3月に京都大学大学院農学研究科を修了し、ブナ林の季節動態の研究により森林生態学分野での修士号を取得。同年4月に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)に入社し、森林・林業分野の調査、コンサルティングに幅広く従事し、林野庁や地方公共団体、林業・木材産業界と幅広いネットワークと信頼関係を構築する。特に、林業分野の専門的な人材育成のための研修プロジェクトに10年以上に渡って関わり、2016年3月に北海道大学大学院農学研究科より、森林・林業分野の人材育成政策をテーマに、博士(農学)を取得。

東日本大震災を契機に、木質系を中心にバイオマスエネルギーのプロジェクトに多数関わるようになり、日本において、持続可能なバイオマスエネルギー利用を実現するために、2016年6月より自然エネルギー財団に参加。木質系バイオマスでの知見と経験をベースに、バイオマスエネルギー政策、自治体のエネルギー政策などの調査・研究に取り組んでいる。

講演や執筆も多数あり、著書に「木質バイオマス事業 林業地域が成功する条件とは何か」「先進国型林業の法則を探る」(全国林業改良普及協会)、執筆記事に「日本がバイオマスを利用するには新しいやり方が必要だ」(Synodos Academic Journal)などがある。



◆コンテナユニット型チップボイラーとは？

- 現在は、建設費が高い、鉄筋コンクリート造のボイラー建屋とチップサイロ(地下式)が普及。
- 「**コンテナユニット型チップボイラー**」は、コンテナ内に、ボイラー室とチップサイロをセットした簡易で安価なシステムで、イニシャルコスト低減に加えて、設置工期の短縮等のメリットがある。
- また、欧州製の最新チップボイラーと乾燥チップの組み合わせにより、ランニングコストも低減。



設置施設：上川町 小椋組事務所
ボイラー：フローリングT4 (50KW)



設置施設：様似町 ひだか南森林組合事務所
ボイラー：フローリングT4 (30KW)



設置施設：東京都立大井町中央海浜公園
ボイラー：ハーガスナーWTH (100KW)

参加申込書

申込締切:2月24日(金)

参加をご希望の方は、下記申込書に必要事項を記載の上、FAXかメールにて送信してください。
申込先:上川総合振興局産業振興部林務課 担当:主査(木質バイオマス)峯岸
TEL:0166-46-5953 FAX::0166-46-5210 E-mail:kamikawa.rinmu20@pref.hokkaido.lg.jp

| 所属 | 職名 | 氏名(フリガナ) | 見学会 | セミナー | 相談会 |
|----|----|----------|-----|------|-----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

※参加を希望する欄(見学会・セミナー・相談会)に、○をご記入下さい。